

祝祭日には国旗を掲揚しましょう

敬神尊皇 黎



明報恩感謝

監修/日刊ひぐらし 〒151-0071東京都渋谷区本町1-30-18-107 http://www.higurashi.net/ 第0055号
護國青年會議機関紙 http://www.gokoku.net/ 発行人/山本修三 編集人/戸出蒼流 平成20年11月30日

対馬が危ない！朝鮮人の乗っ取り計画

武力によって竹島を不法占拠し続けている朝鮮が、今度是对馬に魔の手を伸ばしてきている。長崎県対馬市の不動産が朝鮮人に買い占められ、朝鮮半島からは年間九万人の下品な観光客が訪れ、我が物顔で島を闊歩している。その数は島民の三倍近くになるといふ。ある飲食店経営者によると、「店内にツバを吐いたり、無銭飲食されたこともあった。スーパーなどでは集団で万引きされたという話も聞いた。酔って『竹島と同じで対馬も韓国のものだ』と叫ぶのを何度も聞いた。ウチは絶対に韓国人は受け入れない」と反発している。また観光客の出入りをチェックしている観光物産事務所は「添乗員もガイドも韓国人なのが問題だ。彼らは日本語を正確に理解できない者が多いし、何より正しい歴史教育を受けていないから誤った説明をする。そのため観光客は間違った印象を持ったまま国へ帰って行く。旅行会社の社員の中には『対馬は韓国の領土だ』と断言する者もいる。これが一番の問題だ」と苦々しい顔で語っている。本土から遠く離れた対馬に住む「日本人」の悲鳴が聞こえてくるようだ。

対馬乗っ取りを企む朝鮮人

風光明媚な観光地としても知られる対馬は、古事記や日



風光明媚な防人の島

本書記にも登場する歴とした日本固有の領土である。その対馬の不動産をあるうことが朝鮮人が買いあさっている。対馬は古代より支那大陸との交流があり、外交上の要所であると同時に防衛の最前線基地であった。だが現在、大

八洲国の防衛の要衝であった防人の島・対馬は朝鮮人に席捲され、日本人が気づかないうちに、朝鮮人による乗っ取り計画は着々と進行し、深刻な危機に直面している。

自衛隊基地の隣接地も

こうした状況を島の人々は心底危惧している。中でも、海上自衛隊に隣接する土地が韓国資本に買収されたことについては強い不安と危機感を募らせている。この土地は旧大洋漁業系の真珠の加工工場だったが、真珠養殖業の衰退で平成十四年に工場を閉鎖している。海自の基地に隣接し

ているところから自衛隊に買って貰うよう話を進めていたが、先延ばししているうちに昨年の夏、島民名義のまま朝鮮企業が買い取ってしまった。現在は百パーセント朝鮮資本のリゾートホテルに様変わりしている。このリゾートホテルのオーナーは釜山に住む畜産会社社長で知り合いの島民の名義を借りて3千坪を五千万円で購入し、二億五千万円の経費をかけて戸建の宿泊施設を十棟建築したという。このホテルの敷地内には平成二年、天皇、皇后両陛下が長崎県を行幸の折、真珠工場にお立ち寄りになったことを記念した「行幸記念の碑」が宿泊施設に挟まれるように鎮座している。地元住民は「自衛隊の動向がいつも監視されているような気がする。買い戻そうという声が上がったこともあるが、一度手に入れたものを手放すはずがない。今更、手の打ちようはないが、せめて両陛下の記念碑だけは市が引き取るなど何らかの対処をして欲しい」と訴えている。

脳天気な首相の発言

麻生内閣が発足して二ヶ月が経過した。史上最悪の支那傀儡宰相が退陣した後だけに首相に期待するものは大であった。ホテルのバー通いも明日への活力となるのなら目くらまら立てることもないと思うし、カップラーメンの値段を知らなくても日本を正しい方向へと導いてくれれば良いと



麻生太郎首相

朝鮮人はホテルや民宿だけでなく、飲食店や釣り宿、バンガローまで経営しているが土地の名義や経営者の名前が島民となっているため、対馬市役所も最近まで気がつかなかったという。一部情報によると、買い占

思う。しかし、これまで述べてきたように、対馬が朝鮮人に乗っ取られようとしている危機的な状況下において首相は宰相としての資質に欠ける発言をしている。先月のぶら下がり会見で、朝鮮人が対馬の土地を買い占めていることについて意見を求められると

「土地は合法的に買っている。日本が、かつて米国の土地を買ったのと同じで自分が買ったときは良くて、人が買ったら悪いとは言えない」と述べ、まったくと言っていいほど危機意識が欠如した脳天気なことを言っている。合法的だろうが、そうでなかるうが、このまま買占めが進めば、対馬は早晚竹島と同様に朝鮮人に不法占拠されることになってしまっただろう。

筆者は福田ポン助退陣を受けて、麻生太郎首相が誕生した時、大いに期待したが早くもその期待は音を立てて崩れてしまった感がある。



河村官房長官

この問題については例によって外務省も静観の構えで、合法的な取引について、政府として何か言う立場にない。規制できるものかどうか分からない」という極めて国民感情から乖離した戯けたスタンスをとっている。

また河村建夫官房長官は二十日の参院内閣委員会で「具体的な動きが出たら対策を考える」と述べ、国防上の被害

が出るまで、問題を放置するとも受け止められる答弁を行った。これは自民党の山谷えり子参院議員の質問に答えたもので、安全保障や領土問題という国家観を欠き、島民の安全を軽視した不謹慎極まりない発言である。

対馬がおかれている現状に對して、首相や官房長官、官僚どもが、このようにずれた認識しか持っていない今、何よりも大切なことは日本人のすべてがこの問題に共通の危機感を持ち続けていくことである。

朝鮮人が島民名義で買収した土地を没収し、買占め防止のための法整備をして対馬を元の「日本の対馬」に戻し、釜山と対馬の直行便を廃止して朝鮮人を対馬から追い出した上で、安全保障上の要衝である「防人の島・対馬」を国家が断固たる覚悟をもって守らなければならない。さもなければ、朝鮮人に不法占拠されている竹島の窮状を打破することはできないし、北方領土の奪還は「夢のまた夢」に終わってしまうことだろう。

編集人・戸出蒼流

追記 「対馬が危ない」ことは産経以外のメディアがまったく取り上げていないことから初耳の方も多いのではないかと思います。拙文が少しでもお役に立つなら幸甚です。

売国法案・国籍法改悪に断固反対する!!

今国会で国を売るのでないかと見紛うような法案が提出され議論が噴出してきている。問題となつてゐるのは国籍法を変えようとする法案で、この法案は本年六月、現行国籍法の三条一項が憲法によつて



河野太郎
売国議員

定められている法の下の平等に反する」と最高裁が違憲判決を下したことに端を発している。これを受けた自民党政務調査会は、紅の傭兵こと河野洋平の息子の太郎を座長とする「国籍問題プロジェクトチーム」を編成し、同チームは座長私案を叩き台とした法案を提出した。すでに自民・民主両党は同法案を今国会の会期末までに成立させることで合意している。

法案によれば、婚姻関係の無い外国人女性との間にできた子供に對して（実際にそうであるか疑わしくても）父親とされる日本人男性が認知さえすれば誰にでも日本国籍を与えることができるようになる。例えば色が真っ黒で尻尾が生えているような発展途上国の人間や支那人、朝

ことができてしまうのである。具体的にはこの法案の何処が問題かというところ。DNA鑑定等の化学的根拠が不要なので簡単且つ無制限に日本国籍の取得が可能となる。

現在、二十歳未満であれば日本国籍が取得できる。虚偽申請の罰則（二十万円以下の罰金、一年以下の懲役）が軽すぎて抑止力とならない。

判断基準が自己申告と聞き取り調査だけなので虚偽の申請を見抜くのが難しい。また同法案が成立したら、

人身売買、児童買春などの悪質な犯罪の温床となる危険性が高くなる。スパイ防止法の無い日本において治安の悪化とともに国防を脅かす恐れが大となる。

真面目に納めてきた税金が虚偽申請によつて国籍を取得した者や、その家族の生活を保護するために使われ

てしまうこととなる。以上のような様々な問題を抱えている改悪法案の成立は断固阻止しなければならぬ。

同法案を閣議決定した際にサイレント閣僚の一人が後日無所属の平沼起夫衆院議員に「何とかならないか」と泣きついたように、国会では懸念が広がり、十四日には自民党の

有志議員三十二名が「国民の不安が払拭されるまで徹底的な審議を求め」と法務委員長に申し入れた。また十七日には超党派の議員がこの問題を検証して徹底審議を申し入れていくが楽観視できない。

斯くなる上は実力行使しかないが、まさか国会に殴り込む訳にはいかない。国民の一人一人がこの法案が成立したら、私たちの愛する日本の終焉の始まりと思ひ左記事務所へFAXを送りつけ、国民の意思を明確に示さなければならぬと考える。

麻生太郎国会事務所FAX

〇三・三五〇一・七五二八
このところの政界を凝視すると、いつたい日本はどうなつてしまふのかという懸念が生じてくる。与野党ともに党利党略に走り政策よりも政局を優先している。政治家の心得として「由らしむべし、知らしむべからず」という論語の有名な一節がある。本来の意味は「国民に懇切丁寧に説明しても理解を得られないこともある。しかし、あの人についていけば安心だ」と頼り

されるようになるべきだ」という意味だが、どうやら国会議員は「国民には政治の内容など知らせる必要はない。ついて来させれば良い」と履き違えているようだ。嘆かわしいばかりだ。

編集人